

安全対策は万全ですか？

ご存知ですか？

自動ドアの「安全」に関する国の基準が新しく制定されました

2017年3月、自動ドア全般にわたる安全規格「JIS A 4722（歩行者用自動ドアセット—安全性）」が制定されました。この安全規格は、高齢者や子ども、お身体の不自由な方に配慮した安全思想と、設計段階から安全に対する工夫と配慮をすることにより、これまで以上に、すべての人が安心して自動ドアをご利用いただくことを目的としております。この規格に準拠した安全対策を講じることで、建物管理者（施主）の皆様にとっては、利用者に対して自動ドアの安全性を提供するだけでなく、社会的な信頼を獲得することにつながります。

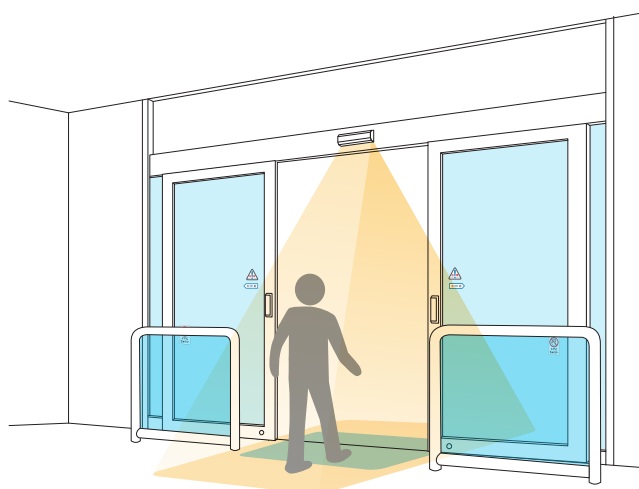


【ケース】 閉じる途中や開く途中の自動ドアに駆け込んで衝突する

上記のような事故が起きる前に、国の安全規格に準拠してはいかがでしょうか？

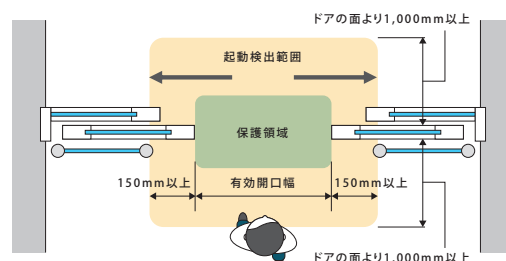
ドアが閉じる時の安全対策

駆け込み等によるドア衝突防止対策



センサーによる対策（起動検出）

歩行者とドアとの衝突を防止するため、起動検出範囲は、幅方向は有効開口幅より左右各々150mm以上広げた寸法とすることが望ましい。また進行方向はドアの面より1000mm以上が望ましい。



その他の安全対策もございます。詳しくは、解説サイトを御覧ください。

JIS A 4722要求事項を満たすための安全対策がわかる解説サイトはこちら

ナブコ JIS A 4722 検索



JIS A 4722要求事項を満たすための商品ラインナップ 保護装置 (NATRUS JIS対応センサー)



拡散反射型センサー

光電センサー (透過型)

JIS A 4722で求められている建築設計者・発注者の安全対策

ガラス



フロートガラスの場合



強化ガラスの場合

- 割れたとき鋭利な破片となるガラスの使用はできません
※安全ガラスを推奨
- 透明なガラス戸の場合は、明瞭に認識できるようにマーキング



強化ガラス



合わせガラス

強化ガラス採用商品 ロスカドア

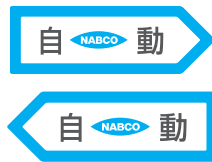
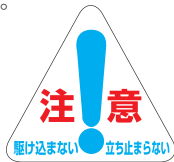


- スリムな縦フレームがシャープさと気品のある外観を実現
2001年ロングライフデザイン賞受賞
- ドア全周のロスカシールが隙間風をふせぎ、冷暖房のロスをカット

JIS A 4722で求められている建物管理者の安全対策 案内表示および警告表示

案内表示 [JIS A 4722 : 2017 | 5.6.2.3より]

引き戸セットには、次の表示を見やすい箇所に行わなければならない。



- 自動ドアセットであることの表示
- 開く方向を示す表示
- 戸先とたて枠との間の危険領域への駆込みを回避するための表示
- 戸先とたて枠との間の危険領域での立止まりを回避するための表示

警告表示 [JIS A 4722 : 2017 | 5.6.2.2より]

開作動中の、戸と固定された戸袋、FIX、袖壁との間の危険箇所における、指のせん断及び引込みの危険源に対して、接触を禁止する表示を危険箇所の近傍に、次のとおりに行わなければならない。



図12 接触禁止の図記号



Φ35mm以上
JIS S 0101 : 6.1.2
(接触禁止)より

- 図12の図記号を用いる
- 表示の背景色は白系統色とする。
- 危険箇所において、少なくとも一つの表示の高さは、床面から750mm以上1,750mm以下とする。

Nabtesco

ナブテスコ株式会社 住環境カンパニー

〒102-0093
東京都千代田区平河町
2丁目7番9号 (JA共済ビル)
TEL (03) 5213-1156



ISO9001・ISO14001 認証取得

<https://nabco.nabtesco.com/>



お求め・お問い合わせはNABCOの正規販売会社へご連絡ください。

●掲載製品は予告なく販売を終了することがありますので予めご了承ください。